

パーパスが育むサステナビリティ

アジアパンフレット
- 2023 -



目次

第一章

シニアマネジメントからのメッセージ	3
-------------------	---

第二章

私たちの戦略的方向性	5
------------	---

ヴェオリアのパーパス(存在意義)

中期経営戦略プログラム「Impact 2023」

ワーキングコミュニティ

第三章

2022年の多面的パフォーマンス	12
------------------	----

環境に関するパフォーマンス

炭素回収パートナーシップで気候変動への対策を強化

PlastiLoop(プラスチループ):廃プラスチックから新たな素材への変革

苗床育成プログラムでサステナビリティを向上

水資源の持続可能な利用を推進する産業パートナーシップ

事業に関するパフォーマンス

地域を牽引する有害廃棄物処理センター

PopUp(ポップアップ)プログラム:持続可能なスタートアップの育成

スマートソリューションによる効率的な資源回収

経営・財務に関するパフォーマンス

迅速かつ環境に配慮した廃棄物輸送プラットフォーム

デジタル化で事務効率を改善

人財に関するパフォーマンス

包摂性イニシアティブでより明るい未来へ

マルチスキル人財の成長と育成

対話からの多様性:包摂的な企業文化への歩み

安全性重視のワークフローアップグレード

地域社会に関するパフォーマンス

地域社会に響くCSR活動

アジアでのコンプライアンス文化の醸成と実績

20年間の繁栄とサステナビリティ促進の旅

グループデータ一覧	29
-----------	----

第一章

シニアマネジメント からの メッセージ

シニアマネジメントからのメッセージ



「パーパスは、私たちの在り方を定義するものです。これは、私たちの価値観を示し、共通の目標に向かって協力し、『人類の進歩と環境保全を両立させるために行動し、社会の役に立つ』という私たちの目標を具現化するものです。

さらに、私たちはパーパスを指針として、汚染の浄化、脱炭素、資源の保全と再生産に前向きな姿勢で取り組み、日々の事業活動を通じて、グループを成長させてきました。

不可能を可能にするために、総勢22万人のリソーサーが、エコロジカル・トランスフォーメーション(環境変革)を共通の信念として、全世界で力を合わせてまいります。」

エステル・ブラクリアノフ

ヴェオリア CEO

「アジア地域はこれまでにないほど力強く成長しており、アジア全域の国々の成果を共有し、従業員同士の対話を増やす機会をさらに拡大しています。現在、私たちは進行中の戦略プログラム『Impact 2023』の最終段階に向けて歩みを進めております。そして、皆が共通の理解を確立し、次なる戦略プログラムである2024年から2027年に向けての準備を整えています。」

クリストフ・マケ

シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント、アジア太平洋ゾーン



第二章

私たちの戦略的方向性

ヴェオリアのパーパス (存在意義)

ヴェオリアは、今日、そして明日の社会をより持続可能なものにするという強い意志を持っています。私たちの使命は、ソリューションの設計・導入により地球を資源で満たし、資源へのアクセス、およびその保全・再生を可能にすることです。



OUR PURPOSE

エコロジカル・トランスフォーメーション (環境変革) の実現、
それが私たちのパーパスです。

エコロジカル・トランスフォーメーション (環境変革) とは、人類の進歩と環境保全を両立させるために行動することです。

私たちは、必要不可欠な天然資源を浄化し、それらの枯渇を防ぎ、さらに生活様式や生産活動を脱炭素化するソリューションを開発し、地域社会に展開します。そして、それらを気候変動によって生じる課題に適応させます。

私たちは世界中で、それぞれの文化を尊重しながら、地域社会の公衆衛生と生活の質を向上させるために力を注いでいます。

ヴェオリアは、経済、社会および環境に関する課題を包括的にとらえ、それに取り組み、より多くの人々の役に立つことをめざしています。

▶ ヴェオリアのパーパスに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。(英語 / 日本語)

全社的なコミットメントと原動力

私たちのパーパスは、長期的なヴェオリアの方針の設定と維持において、私たちを導く**羅針盤**です。パーパスは、私たちを団結させ、行動に移す原動力となります。

- パーパスは、**従業員**に、そして広義にはグループの全てのステークホルダーに力を与え、約束をするものです。
- パーパスは、私たちの**プロセスの変革**を推進し、サポートするものです。
- パーパスは、**持続可能なインパクト**を創出するという私たちのコミットメントを定義するものです。

中期経営戦略プログラム「IMPACT 2023」

IMPACT 2023

エコロジカル・トランスフォーメーション
(環境変革)のベンチマーク企業へ



地球と現代社会は歴史的な転換点を迎えています。ヴェオリアは、**企業としての責任**に向き合い、社会全体が**新たな試練**にも立ち向かえるよう、事業活動を行っています。

私たちのミッションとパーパスは、地球に良い影響をもたらすという揺るぎないコミットメントが根底にあり、私たちは**創業以来170年以上**にわたってこれを継続しています。現在このコミットメントは、ステークホルダーの期待やニーズをかつてないほどに反映したものになっています。

ヴェオリアグループは、すべてのステークホルダーへの影響を最大化するために2020年から2023年までの中期経営戦略として「**Impact 2023**」を策定しました。

同戦略では、以下の3点に示すように、エコロジカル・トランスフォーメーション(環境変革)を実現するために最も有用かつ最大のインパクトを与えられるようなノウハウや活動を明記しています。

- 有害廃棄物の処理やプラスチックリサイクル等、ヴェオリアグループの**専門性**を発展させる
- 従来 of 事業を強化・改革するために、さらなる**イノベーション**を進める
- **多面的パフォーマンス**のフォローアップを確実に行う

中期経営戦略プログラム「IMPACT 2023」

多面的パフォーマンス



国連の持続可能な開発目標 (SDGs)
 ヴェオリアは、SDGsの17の目標に置いて何らかの役割を果たし、そのうち13の目標には直接的に貢献しています。



私たちは、環境、事業、経営・財務、人財、地域社会の5つの領域に均等に注力しています。各領域が互いを補完し合い、**好循環**が生まれるよう取り組みます。

これら5つの領域に対して、国連の**持続可能な開発目標(SDGs)**にも対応する**18の定量的なKPI**を設定しています。その進捗については、独立した第三者機関による定期的な監査と評価が行われ、役員に支払われる変動報酬に反映されます。

このように、パーパスを**羅針盤**として、ステークホルダーと**共に歩む**べく進捗を共有しています。

▶ [ウェブサイトでは、パーパスに向けた私たちの歩みをご覧ください。\(英語\)](#)

ワーキングコミュニティ

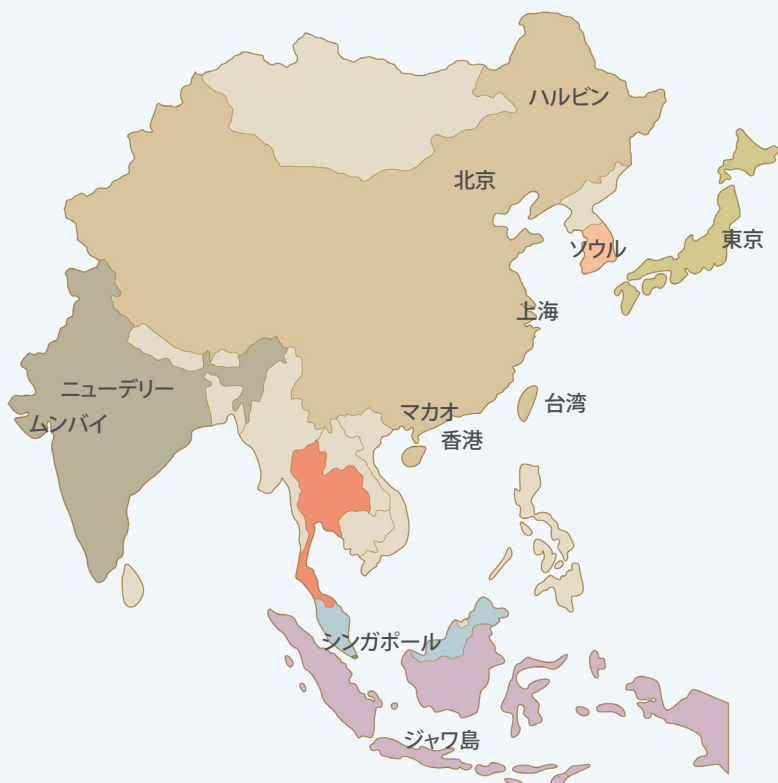
WORKING COMMUNITY

ヴェオリアが目指すグローバルな企業の実現に向けて、誰もが自身の行動基準にパーパスを置き、企業活動と自己実現にコミットする

ヴェオリアアジアでは、アジア全域の7つの事業部門から約25名で構成されるパーパスコミュニティを組織しています。パーパスコミュニティでは、**従業員が個人のパーパスを会社のパーパスに結び付け**、日々の行動の中でそれらを実践できるように活動をしています。

このコミュニティではヴェオリアアジアの**従業員が協力して変化を推進**すべく、パーパスに向けた共通のコミットメントを通じて、**より良くより持続可能な未来を実現**するための支援を行っています。

アジアパーパスコミュニティ



25+

アジア全地域の事業部門から参加したメンバー数

5+

サステナビリティ、コミュニケーション、人事、技術などの様々なスキルセット・専門分野の数

ミッション

組織の全階層においてパーパスを常に念頭におきながら、日々の事業活動を行うための変化のきっかけを生み出すこと

役割

所属部門でのアンバサダー、プロジェクトマネージャー、アイデアを生み出す人となること

ワーキングコミュニティ

過去の実績

2022年

第1四半期

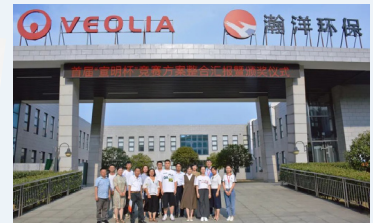
エンゲージメント

スエズ合併に伴う新しい従業員を対象とした「Purpose in Motion」ワークショップや自己学習用エラーニングプログラム「The Discovery」の設計および展開

第2四半期

パイロットプロジェクト REX1.0

アジア全域のさまざまな事業部門が共同で開発した8つのパイロットプロジェクトからの経験を活用し、パーパスを日常業務に浸透させる取り組み



パーパス×インパクト ポッドキャスト

社外ゲストスピーカー7名を含む27名のゲストとの計570分の対話を2シーズン、合計24エピソードにわたり展開



第3四半期

事業開発

測定可能で収益化可能な重要な指標を活用し、事業活動から生まれる価値を拡大し、同時にその価値を評価するために社内開発されたパーパススコアカードの導入開始

コミュニティ形成

上海にて中国パーパス・オフィサー・セミナー、香港にてパーパス・コミュニティ・チームビルディングを開催



第4四半期

パイロットプロジェクト REX2.0

REX1.0で試験が成功したパイロットプロジェクトの他国での適応・展開

社外コミュニケーション

ヴェオリアのパーパスとそのアプローチ方法を社外のサステナビリティカンファレンスやサプライヤーへ共有



ワーキングコミュニティ

通年活動

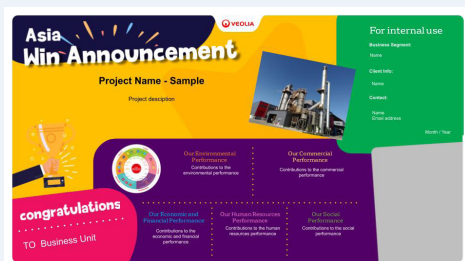
指標

執行役員メンバーの支援により18個のKPIの年次モニタリングが行われ、経営者の報酬に反映



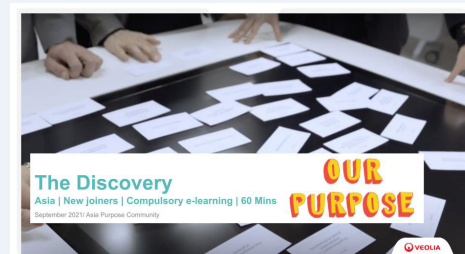
アジア・ウィン・アナウンスメント

パーパスに基づいた**ビジネス事例**を多面的パフォーマンスの観点から評価し、伝達する月次速報の導入



エンゲージメント

新入社員向けのEラーニングプログラム「The Discovery」の継続



第三章

2022年の 多面的パフォーマンス

ステークホルダーと共に、社会へより良い影響をもたらすために

2022年の多面的パフォーマンス



炭素回収パートナーシップで気候変動への取組を強化

環境に関するパフォーマンス | インド | 気候変動対策

ヴェオリア・カーボンクリーン設立の発表は、インドの気候に対する目標達成に向けた重要なステップとなりました。ヴェオリア・カーボンクリーンは、炭素回収技術のリーダー的企業であるカーボンクリーンと、資源管理においてグローバルリーダー的企業であるヴェオリアとの合併会社です。

このパートナーシップの主な目的は、産業における二酸化炭素排出を削減することです。タタ・スチールとの3年契約により、インド初の溶鋳炉用炭素回収プラントの運営管理を行います。回収された炭素はプラントで別の用途に再利用され、タタ・スチールのジャムシェドプル工場の全体的な二酸化炭素排出削減と運営効率の向上に寄与します。

インドの脱炭素への移行において、手頃な炭素回収技術は極めて重要です。インドは、2030年までに推定炭素排出量を10億トン削減し、エネルギーの50%を再生可能資源から供給することを目指しています。

この目的の達成に向けて、ヴェオリアとカーボンクリーンの合併会社が、重要な役割を果たすことが期待されています。両社は互いの専門知識を補完し、サステナブルな未来へのビジョンを共有し、さらに脱炭素へのコミットメントを共有することで、インドのネットゼロ実現に向けた重要な支援を提供します。

グループの指標

温室効果ガスの排出削減：
欧州における2030年までの
脱石炭に向けた投資計画の進捗

2022年グループ結果: 30%
2023年グループ目標: 30%

温室効果ガス (GHG) の排出回避：
年間GHG排出回避量

2022年グループ結果: 二酸化炭素換算量 14.1 Mt相当
2023年グループ目標: 二酸化炭素換算量 15 Mt相当

2022年の多面的パフォーマンス



＞ ヴェオリアのプラスチループに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。(英語/日本語)

PLASTILOOP (プラスチループ): 廃プラスチックから新たな素材への変革 環境に関するパフォーマンス | アジア | サーキュラーエコノミー: プラスチックのリサイクル

ヴェオリアは、新しい循環型ポリマーブランド「PlastiLoop (プラスチループ)」を立ち上げました。世界約40カ所に及ぶリサイクルプラスチック工場を運営し、産業クライアントの多数な用途や、厳格な基準にも対応しています。

また、ダノン・アクアとのパートナーシップを結び、インドネシアのパスルアンにおいて、最大規模のPETボトルリサイクル工場を建設しました。このインドネシア初となる工場では、PETボトルのリサイクルおよび加工を行い、その材料を高品質の食品グレードペレットに変換しています。同工場では、約1,000人のウェストピッカー（廃棄物の最終処分場などで有価物を収集し生計を立てている者）が回収した年間約10億本のボトルを加工し、2万5,000トンの高品質食品グレードペレットを生産しています。さらに同工場では、地域の人々のために225件の雇用を提供しています。

中国市場では、2023年3月にアップグレードされたプラスチループブランドを立ち上げ、大きな反響を呼びました。非常に嬉しいことに、ロレアル、シャネル、コカ・コーラなどのトップブランドから圧倒的な支持を受けています。

日本の自動車産業向けには、豊田通商と小島産業との共同で、日本最大のリサイクルプラスチック加工会社であるプラニックを設立しました。プラニックでは、素材の種類に応じて混合プラスチックを回収・分別・合成し、プラスチック原料へとリサイクルしています。

韓国にあるプラスチックリサイクル施設であるDoksanとDSPLは、2022年のプラスチループの正式な立ち上げに伴い、「プラスチループ・ファソン」となりました。年間2万700トンのリサイクルPPペレットと、3万4,000トンのPPコンパウンドを生産しています。

プラスチループの立ち上げは、クライアントと連携し、生態危機に立ち向かい、循環型プラスチック資源管理を促進する私たちのコミットメントを証明しています。

グループの指標
ヴェオリアのプラスチックリサイクル工場で再生した
プラスチックの量

2022年グループ結果: 490 kt
2023年グループ目標: 610 kt

2022年の多面的パフォーマンス



苗床育成プログラムでサステナビリティを向上

環境に関するパフォーマンス | 東南アジア | 自然環境と生物多様性の保全

2022年、PTヴェオリア・サービス・インドネシア (VSI) は、食品廃棄物への対処と環境サステナビリティの促進を目指し、オンサイト苗床プログラムを実施しました。このプログラムの目標は、廃棄物の削減とリサイクルを通じて緑地を拡充し、森林再生を実現することです。

このプログラムでは、VSI工場周辺のさまざまなエリアから食品廃棄物を回収し、それを有機肥料に加工しています。これにより、外部から肥料を購入する必要がなくなり、使用する肥料のほぼ全てを現場内でリサイクルできるようになりました。

さらに、このプログラムでは従業員からの積極的なフィードバックを受け、従業員が使用済みのペットボトルを植物や有機肥料に交換し、自宅に持ち帰ることができる仕組みが導入されました。人事部および総務部からなる約10人のチームが担当し、これまでに36人の従業員がPETボトルを植物や肥料に交換しました。

このプログラムでは、食品廃棄物や庭のごみをリサイクルして肥料として活用することに成功し、環境サステナビリティを促進しています。また、VSIの従業員を巻き込むことで、社内のサステナビリティ文化の醸成にも貢献しています。

グループの指標

自然環境と生物多様性に与える影響を改善する必要のある現場におけるアクションプランの進捗率

2022年グループ結果: **66%**

2023年グループ目標: **75%**

2022年の多面的パフォーマンス



水資源の持続可能な利用を推進する産業パートナーシップ

環境に関するパフォーマンス | 中国本土・マカオ | 水資源の持続可能な管理

ヴェオリアは、Hubei Heyuan Gas Co. Ltdと共同で、廃水処理および再生水の施設を建設・運営しています。また、湖北省当陽市での年間55万トンのアンモニアアルコールをアップグレードするプロジェクトにおいて、Hubei Jinkong Gas Co. Ltdと協力しています。Hubei Jinkong Gasは、石炭化学業界の一流企業であり、湖北省および山西省において鍵となる本プロジェクトは、当陽市の伝統的な石炭化学産業を、効率化を促進し、より環境に優しく変革する役割を担っています。

このプロジェクトは、処理能力の向上、廃水の排出量および汚染の削減、より効率的な水資源の使用を目標とし、1日あたりの廃水処理量6,000m³および1日あたりの水再生量1万2,000m³の施設を建設することを目指しています。これにより、原水の取水量および廃水の排出量の双方で、年間200万m³が削減され、廃水再使用率は65%に達する見込みです。

ヴェオリアは、このプロジェクトが現在の中国の石炭化学産業において、より高品質な旗艦プロジェクトとなることを確信しています。私たちは、当陽市のエコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）およびサステナビリティへの貢献に全力で取り組んでいます。

グループの指標

5万人超の住民が利用する水道網の効率性
(水道水の消費量/水道水の生産量)

2022年グループ結果: **76.3%**
2023年グループ目標: **75.0%以上**

2022年の多面的パフォーマンス



地域を牽引する有害廃棄物処理センター

事業に関するパフォーマンス | 中国本土・マカオ | 有害廃棄物の処理と再資源化

滄州冀環ヴェオリア・エンバイロメント・サービスは、河北省の企業および公共施設向けに包括的な有害廃棄物管理サービスを提供する有害廃棄物処理センターです。これは河北省の環境保護インフラにおける重要な建設プロジェクトです。

同センターは河北省で有害廃棄物処理に関する各種事業資格を最も包括的に取得し、最新の「国家危険廃棄物名録」に掲載されている42カテゴリーの有害廃棄物を処理しています。

環境への二次汚染を防ぎつつ、責任を持って有害廃棄物処理を確実に行うため、最先端のシステムを運用しています。また、緊急の環境事故に備えて、地方自治体、企業、施設と連携する専門の緊急対応サービスチームを設立しました。同センターは、一般の訪問客やツアー客を定期的に受け入れ、環境保護や省エネに関する啓蒙活動を積極的に実施しています。

滄州冀環ヴェオリア・エンバイロメント・サービスは河北省におけるベンチマーク企業として、高品質な顧客サービスを提供すると同時に、企業としての社会的責任を果たしています。

グループの指標

「液体・有害廃棄物の処理・有効活用」セグメントの連結売上高

2022年グループ結果: **41億2,000万ユーロ**

2023年グループ目標: **40億ユーロ以上**

2022年の多面的パフォーマンス



POPUP (ポップアップ) プログラム: 持続可能なスタートアップの育成

事業に関するパフォーマンス | インド | 革新的ソリューションの展開

「Pop-Up India」プログラムは、スタートアップと共同で革新的なビジネスソリューションを創造し、それらのソリューションを改善するために立ち上げられました。2021年には、カーボンフットプリントを最小限に抑え、気候変動対策という喫緊のニーズに対応するため、「Pop-Up India 2.0」が導入されました。

このプログラムでは、Krimanshi TechnologiesとAgri-to-Power (A2P) の2社のスタートアップが、廃棄物からエネルギーを回収するソリューションで、最終選考に残りました。Krimanshi Technologiesは有機食品廃棄物を動物飼料の代替原料に変換し、A2Pは稲わらを次世代バイオ燃料に変換します。

ヴェオリア・インドは、両社のスタートアップと提携しました。Krimanshiがラジャスタン州ジャイプールに初の商業鶏用飼料製造施設を設立する際に支援し、その結果、卵と鶏の重量が5~10%増加しました。また、A2Pには、バイオマス廃棄物の識別に役立つオンラインプラットフォームの立ち上げと、バイオ燃料を購入するための専用マーケットプレイス構築に対する支援を行いました。

このプログラムは、気候変動という試練に立ち向かうために革新的ソリューションを生み出し、サステナビリティ志向のスタートアップを支援するヴェオリアのコミットメントを示す代表例です。

グループの指標

グループが締結した契約(10件以上)に含まれる
イノベーションの数

2022年グループ結果: 10

2023年グループ目標: 12

2022年の多面的パフォーマンス



スマートソリューションによる効率的な資源回収

事業に関するパフォーマンス | 香港 | 顧客および利用者の満足

固形廃棄物のリサイクルと有価物化を専門とするヴェオリア・グループの企業Waylungは、Hong Kong Aero Engine Services Limited (HAESL) からTseung Kwan O工業団地での3年間の廃棄物管理契約を受注しました。

この契約に基づき、Waylungは木材、混合プラスチック、金属、段ボールなどのリサイクル可能な材料を回収しています。回収データはデジタルデータベースに記録され、リアルタイムで報告書が作成されます。

この報告プラットフォームにより、顧客は社内の廃棄物の分別をモニタリングし、最適化することができます。その結果、資源の回収とリサイクルを最大化することができます。また、Waylungが商用ペットボトル自動回収機を初めて提供したことも、現在の契約獲得に貢献しました。

この契約は、ヴェオリアのサービスを他のクライアントに提供する機会を拡大させる好機となりました。さらに、スマート回収とクラウドベースのデータ保管プラットフォームを導入することで、地域の資源回収に対して意識を高めるきっかけにもなっています。

グループの指標

ネットプロモータースコア(NPS)を用いて測定した顧客満足度

2022年グループ結果: NPSスコア**48.83%**の売上を対象に実施
2023年グループ目標: NPSスコア**30以上**、**75%**の売上を対象に実施

2022年の多面的パフォーマンス



迅速かつ環境に配慮した廃棄物輸送プラットフォーム

経営・財務に関するパフォーマンス | 香港 | 収益成長率、事業の収益性、使用資本利用率 (ROCE)、投資能力

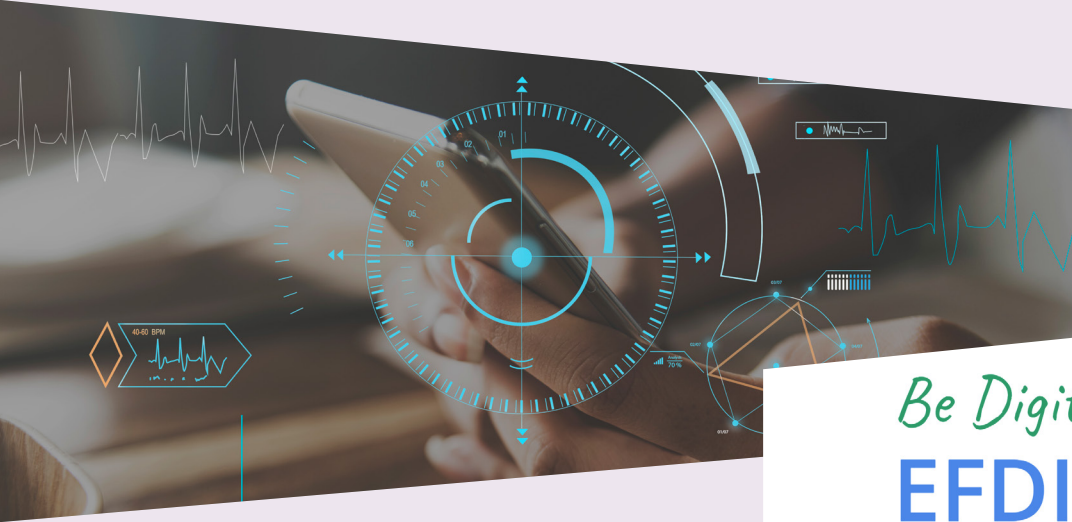
ヴェオリア・香港のEcospaceでは、より大型の医療廃棄物輸送プラットフォームを新たに設置することで、廃棄物処理の能力が大幅に向上し、廃棄物コンテナの積み込みと輸送にかかる時間も短縮されました。

2022年1月に発生した新型コロナウイルスの第5波により、1日あたりの医療廃棄物の受け入れ量が250個から500個に増加しました。コンテナの輸送がサイトでのボトルネックとなる事態が発生し、より大規模なプラットフォームが必要となりました。

現在のプラットフォームは、拡張前の2倍の収容能力を持ち、コンテナ6個分を収容できます。以前は120秒間で3個のコンテナを積み込んでいましたが、新しいプラットフォームでは150秒間で6個のコンテナを積み込むことができるようになりました。これにより、廃棄物処理の効率が37.5%向上し、医療廃棄物を受け入れてから48時間以内に処理するという香港環境保護署 (EPD) のKPI達成にも役立っています。このプロジェクトは1週間で完了し、さまざまなチーム間での協力体制が実証されました。

グループの指標
次頁参照

2022年の多面的パフォーマンス



Be Digital, be efficient EFDI project デジタルによる効率化

デジタル化で事務効率を改善

経営・財務に関するパフォーマンス | 日本 | 収益成長率、事業の収益性、使用資本利用率 (ROCE)、投資能力

デジタル化は、私たちの継続的な改善への取り組みにおいて非常に重要な要素です。ヴェオリア・ジャパンのEFDI (Efficiency by Digitalization: デジタル化による効率化) プロジェクトは、事務作業の効率向上を図る取り組みの一環として、大きな前進を遂げました。このプロジェクトで中心的な役割を果たしたのは、ファイナンス本部です。

最近導入された「Concur」は、従業員とファイナンス本部双方のプロセスが簡素化・効率化された新しい経費精算システムです。携帯電話からも経費の請求、承認、支払いが行えるようになり、紙の使用量が減少し、ミスも最小限に抑えられています。ファイナンス本部はこのデジタル化による業務改善を通じて、社内プロセスを最適化しました。

EFDIプロジェクトは、今後もデジタル化をさらに推進していきます。従業員のニーズを満たすと同時に、手作業や紙、インクカートリッジの使用を削減させるファイナンス本部の取り組みが、このプロジェクトを成功に導きました。その結果、効率性、従業員のウェルビーイング、環境保全への貢献も向上しました。

グループの指標

収益成長率
年間売上高

2022年グループ結果: **429億**ユーロ
2023年グループ目標: 年間目標

事業の収益性
当期純利益 - グループ持分

2022年グループ結果: **10億**ユーロ
2023年グループ目標: **10億**ユーロ

使用資本利益率 (ROCE)
ROCE (税引後、IFRS 16適用)

2022年グループ結果: **7.6%**
2023年グループ目標: 年間目標

投資能力
フリーキャッシュフロー (投資一任前)

2022年グループ結果: **14億6,300万**ユーロ
2023年グループ目標: 年間目標

2022年の多面的パフォーマンス



包摂性イニシアティブでより明るい未来へ

人財に関するパフォーマンス | インド | 多様性

ヴェオリア・インドでは、変革とエンパワーメントを目指す取り組みの中で、包摂性（インクルージョン）を促進する2つの成果を達成しました。

非政府組織UPAY (Under Privileged Advancement by Youth) との強力なパートナーシップにより、オレンジシティウォーターは、地域社会の向上と明るい未来の実現を目指すイニシアティブを先導しています。この取り組みの一環として、経済的に困難な状況にある女性を支援するために、4つの能力開発センターが設立されました。これらのセンターでは、手工芸品製作、美容技術、コンピューターリテラシーなど、女性が成功するために必要なスキルを習得できるようになっています。

もうひとつの取り組みは、「No Questions Please (何も聞かないでください)」という社内ポリシーの実施です。このポリシーは、女性従業員が月経中に直面する可能性のある問題に対処できるよう、毎月1日の有給休暇が追加で付与されるものです。

私たちは、今後も協力的な職場環境を構築し、包摂性を促進し続けます。女性たちにスキルを提供し、困難な状況を支援をすることで、地域社会により明るい未来を築き、ポジティブな変化を呼び起こすことを目指しています。

グループの指標

幹部上位500人に占める女性の割合 (2020～2023年)

2022年グループ結果: **30.3%**

2023年グループ目標: **50%**

2022年の多面的パフォーマンス



マルチスキル人材の成長と育成

人財に関するパフォーマンス | 中国本土・マカオ | 従業員研修とエンプロイアビリティ

ヴェオリアは、従業員の成長と能力開発の文化を育むことに情熱を注いでいます。従業員が個人として、また企業全体として、効率性、生産性、自己啓発、キャリア開発を達成するためのスキルやトレーニングを提供することに全力を尽くしています。

例えば、Tongling Bronzeのメンテナンスチームは、異なる分野を専門とする電気技師と作業台で組み立てなどを行うベンチワーカーで構成されています。時には、簡単な日常業務を2人でこなす必要があり、これが効率の低下やメンテナンスにおける問題や遅延を引き起こすことがありました。そのため、生産性を向上し、顧客により良いサービスを提供するために、マルチスキル人材を育成するトレーニングプログラムを導入しました。

2021年4月に開始されたこのトレーニングでは、若手のベンチワーカーに電気技師の資格を取得させ、電気関連業務に参加させた一方、若手の電気技師も、ベンチワーカーの業務に参加しました。さらに、半年ごとにジョブローテーションを行うことで、電気技師とベンチワーカー共に、両方の業務を1人で遂行できるようになりました。

このプログラムはすでに、業務中の待ち時間の短縮や従業員の効率向上など、複数の効果を実証しています。同時に、従業員に自己啓発の機会を提供しながら、企業の人件費を削減しました。両方の業務を理解する従業員がいることで、チームの効率が向上しました。さらにチームメンバーが意見を交換して協力し合う機会が増え、結果としてチームの協調性が高まりました。

グループの指標

従業員一人あたりの年間研修受講時間

2022年グループ結果: 26時間

2023年グループ目標: 23時間

2022年の多面的パフォーマンス



対話からの多様性:包摂的な企業文化への歩み

人財に関するパフォーマンス | 韓国 | 従業員のコミットメント

ヴェオリアは、従業員一人ひとりの声を聞き、それを尊重し大切にする透明性と包摂性（インクルージョン）のある企業文化の構築に向けて大きく前進しています。会社と従業員の対話を促進するために、グローバルなツールとローカルなツールの両方を活用しています。

「Voice of Resources」調査は、全世界の従業員から匿名でフィードバックを収集するためのグローバルなツールです。一方、韓国ではコミュニケーションを促進するため、より定性的な調査、セミナー、対面でのミーティング、トレーニングを実施しています。その結果、従業員の包摂性に関する意識が高まり、尊重されていると感じることで、より高いパフォーマンスを発揮できることがわかりました。さらに、多様性の推進を目指す取り組みは、新たな視点をもたらし、企業文化を向上させるのに役立っています。

さらに、ヴェオリアがSDGsやエコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）に全力を注いでいることは、従業員、特に若い人財を採用する際に大きな魅力となっています。これはヴェオリアにとってチャンスであると同時に、試練でもあります。なぜなら、地球を守るために働くという志を持って入社してくる従業員との約束を守らなければならないからです。

SDGsのさまざまな側面は相互に依存しており、ヴェオリアは、すべての人にとってサステナブルで包摂的な未来を創造することに全力を尽くしています。

グループの指標

第三者による調査で測定した従業員のコミットメント率

2022年グループ結果: **89%**
2023年グループ目標: **80%以上**

2022年の多面的パフォーマンス



安全性重視のワークフローアップグレード

人財に関するパフォーマンス | 韓国 | 職場の安全

韓国のハマム、オクサン、チャンウォンにあるR&E工場で導入された新しいワークフローは、作業現場の安全性、効率性、廃棄物削減に大きな改善をもたらしました。

R&Eは、廃大理石を再利用して、LEDテレビ、繊維、タイル、耐火レンガ、セラミック、人工大理石などの製造に必要なメタクリル酸メチル(MMA)やアルミナを製造することに専門にしています。2019年にヴェオリアは、年間3万5,000トンの人工大理石をリサイクルするためにR&Eと提携しました。

R&Eの製品の1つであるアルミナは、1トン袋に包装されて販売されています。しかし、以前のワークフローでは、包装の過程でアルミナが漏れることがあり、大量の損失が発生し、工場の安全性にも懸念がありました。

この問題に対処するため、韓国R&Eの維持管理部門は、目盛りとバルブを連結構造にした新しいワークフローを開発しました。この変更により、包装工程が最適化され、アルミナの漏れによる廃棄物が劇的に削減されました。さらに、待ち時間がなくなり、アルミナの生産中のダウンタイムが削減されました。そして最も重要なことは、生産現場での事故が減少したことです。

グループの指標
労働災害の度数率

2022年グループ結果: **5.61**
2023年グループ目標: **5.0**

2022年の多面的パフォーマンス



地域社会に響くCSR活動

地域社会に関するパフォーマンス | 台湾 | 地域における雇用と富の創出

台湾の合併企業であるOnyx Ta-Ho Environmental Servicesは、環境サステナビリティへの取り組みや地域社会への積極的な貢献が評価され、コモンウェルス誌から「2022年企業の社会的責任（CSR）における優良企業」賞を受賞しました。この賞は、台湾で毎年開始される主要なESG賞のひとつで、年間売上高が50億台湾ドル未満の「リトル・ジャイアント・グループ」部門で9位にランクインしました。3年連続の受賞です。

コモンウェルス誌は、関渡自然公園でのボランティア活動を高く評価し、産業と地域社会への影響との関連性が主要な選定基準となったことを強調しました。Onyx Ta-Hoは、台湾で私たちのパーパスと環境総合サービスを通じて「地球を資源で満たす」という私たちの使命を象徴しています。

Onyx Ta-Hoは、プロフェッショナルで革新的、かつ信頼性のある戦略的パートナーとして、共通の価値観に基づき、顧客との重要な協力関係を築くと同時に、地元の機関、コミュニティ、一般市民と積極的な交流を維持しています。ヴェオリアのソリューションは、地域の利益を最優先し、経済、環境、社会の要求を満たすことを目指しています。このような取り組みにより、直接および間接的な雇用機会が生まれ、地域の開発が促進されています。

グループの指標

ヴェオリアグループが事業を行っている国で直接的または間接的に創出された雇用と財産に関する社会経済的フットプリント

2022年グループ結果: **114万7,238件**の雇用支援および**530億ユーロ**の付加価値創造
2023年グループ目標: **45カ国**においてヴェオリアの影響を年次評価

2022年の多面的パフォーマンス



アジアでのコンプライアンス文化の醸成と実績

地域社会に関するパフォーマンス | アジア | 倫理とコンプライアンス

コンプライアンスの達成と注意義務を意識した企業文化を醸成することへの努力が、アジアで最近行われた2つの取り組みにおいて明確に示されています。

顧客と産業の課題に対処するため、市場の需要に合わせた包括的な研修方針を導入し、アジア全域での管理職の修了率は100%に達しました。研修には、腐敗防止、競争法順守、利益相反、善管注意義務／ビジランスなど、倫理とコンプライアンスに関連する主要なリスク領域に焦点を当てた、グループ主導の年次オンライン研修が含まれています。また、国毎に異なるニーズに対応するため、各国主導で対面研修やオンライン研修が別途実施されています。これは、アジアの事業所約2,300名の管理職の多様な要求に答えるための取り組みです。

研修と能力開発へのコミットメントにより、業界の顧客に革新的ソリューションを提供する能力が向上しています。この成功は、企業のコンプライアンスを維持するために、管理職が果たす重要な役割をより明確に示しています。

さらに、アジア各国において人権、持続可能な調達、安全衛生、環境などの4つの主要なテーマに関する善管注意義務／人権委員会を定期的に開催しています。特に日本では、フランスの「注意義務法」やEUの「企業の持続可能性デューデリジェンス」に対応するため、経団連主催の注意義務法に関するセミナーにヴェオリアが招待され、自社の取り組みを共有しました。このセミナーでは、注意義務法の意味とヴェオリアの事業への影響に焦点を当てました。

これらの取り組みは、組織内での注意義務の遵守とコンプライアンスへのコミットメントを強化することを目的としています。また、「人権」に関するリスクマッピングの更新も行われ、特にグローバルサプライチェーンにおけるデューデリジェンスと、第三者デューデリジェンス管理に関する最新の要件に準拠していることが確認されました。

グループの指標

コミットメント調査における質問
「ヴェオリアの価値観と倫理は
所属部門に適用されているか？」
に対する肯定的な回答の割合

2022年グループ結果: **85%**
2023年グループ目標: 全回答者の**80%**以上

2022年の多面的パフォーマンス



20年間の繁栄とサステナビリティ促進の旅

地域社会に関するパフォーマンス | 中国本土・マカオ | 必要不可欠なサービス(水道・下水道)へのアクセス

ヴェオリアのPudong Water Concessionは、2022年12月9日に20周年を迎えました。この記念すべき出来事は、統合と繁栄をテーマに、これまでの20年間の実績を振り返る素晴らしい機会でした。祝賀会では、再生可能な資源とサステナビリティへの揺るぎないコミットメントとともに、謙虚さ、包含性、先進的アプローチへの努力も強調されました。

Pudongは長年にわたり、水の生産、管網管理、水道メーター検針などの事業を拡大してきました。サステナビリティは、Linjiang工場やJinhai工場などの主要プロジェクトにおいて、地域社会の水質を改善するための重要な推進力であり続けています。また、住民に信頼性の高い水供給を確保し、最高水準の顧客サービスを提供するために、カスタマーサービスが開始されました。これらの成果の一部として、スマートウォータープロジェクトが実施され、資源の共有と便利なコミュニケーションを実現しました。

過去20年にわたるPudongの成功は、水道業界における長期計画、戦略的思考、サステナビリティへのコミットメントの重要性を明確に示しています。ヴェオリアは、今後も中国での事業を成長・拡大させながら、国内でのエコロジカル・トランスフォーメーション(環境変革)およびサステナビリティを促進するリーダーとしての役割を果たし続けます。

グループの指標

ヴェオリアの契約下で水または下水処理のインクルーシブ(包摂的)ソリューションを利用している住民数

2022年グループ結果: **692万人**
(2019年比+21.3%)

2023年グループ目標: 継続的な領域において**+12%**

2022年の多面的パフォーマンス

グループデータ一覧

指標	2019 (基準値)	2021 (実績)	2022 (実績)	 2023 目標
環境に関するパフォーマンス				
気候変動対策 温室効果ガスの排出削減：欧州における 2030年までの脱石炭に向けた投資計画の進捗	該当なし	17%	30%	30%
温室効果ガス (GHG) の排出回避：年間GHG排出回避量	12 Mt 二酸化炭素 換算量	11.4 Mt 二酸化炭素 換算量	14.1 Mt 二酸化炭素 換算量	15 Mt 二酸化炭素 換算量
サーキュラーエコノミー：プラスチックのリサイクル ヴェオリアのプラスチックリサイクル工場で再生した プラスチック量	350 kt	476 kt	490 kt	610 kt
自然環境と生物多様性の保全 自然環境と生物多様性に与える影響を改善する必要がある 現場におけるアクションプランの進捗率	該当なし	30%	66%	75%
水資源の持続可能な管理 5万人超の住民が利用する水道網の効率性 (水道水の消費量/水道水の生産量)	72.5%	75.6%	76.3%	>75%
事業に関するパフォーマンス				
有害廃棄物の処理と再資源化 「液体・有害廃棄物の処理・有効活用」セグメント の連結売上高	25.6億 ユーロ	30.6億 ユーロ	41.2億 ユーロ	>40億 ユーロ
革新的なソリューションの展開 グループが締結した契約(10件以上)に含まれる イノベーションの数	該当なし	6件	10件	12件
顧客および利用者の満足 ネットプロモータースコア (NPS) を用いて測定した 顧客満足度	該当なし 該当なし	72% スコア 43	83% スコア 48	75% スコア >30

2022年の多面的パフォーマンス

指標	2019 (基準値)	2021 (実績)	2022 (実績)	2023 目標
経営・財務に関するパフォーマンス				
収益成長率 年間売上高	272億 ユーロ	285億 ユーロ	429億 ユーロ	年間目標
事業の収益性 当期純利益 - グループ持分	7.6億 ユーロ	8.96億 ユーロ	10億 ユーロ	10億 ユーロ
使用資本利用率 (ROCE) ROCE (税引き後、IFRS 16適用)	8.4 %	8.2 %	7.6 %	年間目標
投資能力 フリーキャッシュフロー (投資一任前)	12.3億 ユーロ	17.2億 ユーロ	14.6億 ユーロ	年間目標
人財に関するパフォーマンス				
多様性 幹部上位500人に占める女性の割合 (2020 ~ 2023年)	該当なし	30.4 %	30.3 %	50 %
従業員研修とエンプロイアビリティ 従業員一人あたりの年間研修受講時間	18時間	21時間	26時間	23時間
従業員コミットメント 第三者による調査で測定した従業員のコミットメント率	84 %	87 %	89 %	≥80 %
職場の安全 労働災害の度数率	8.12	6.65	5.61	5
地域社会に関するパフォーマンス				
地域における雇用と富の創出 ヴェオリアグループが事業を行っている国で直接的または間接的に創出された雇用と財産に関する社会経済的フットプリント	該当なし	雇用支援数 1,033,623	雇用支援数 1,147,238	45 各国 においてヴェオリア の影響を年次評価 (2020年~)
	該当なし	490億 ユーロ	530億 ユーロ	
倫理とコンプライアンス コミットメント調査における質問「ヴェオリアの価値観と倫理は所属部門に適用されているか?」に対する肯定的な回答の割合	該当なし	84 %	85 %	≥80 %
必要不可欠なサービス (水道と下水道) へのアクセス ヴェオリアの契約下で水または下水処理のインクルーシブ (包摂的) ソリューションを利用している住民数	住人数 571万人	住人数 671万人	住人数 692万人 (2019年 比+21.3%)	継続的な領域 において +12 %

エコロジカル・トランスフォーメーション(環境変革)の実現、
それが私たちのパーパスです。

Resourcing the world